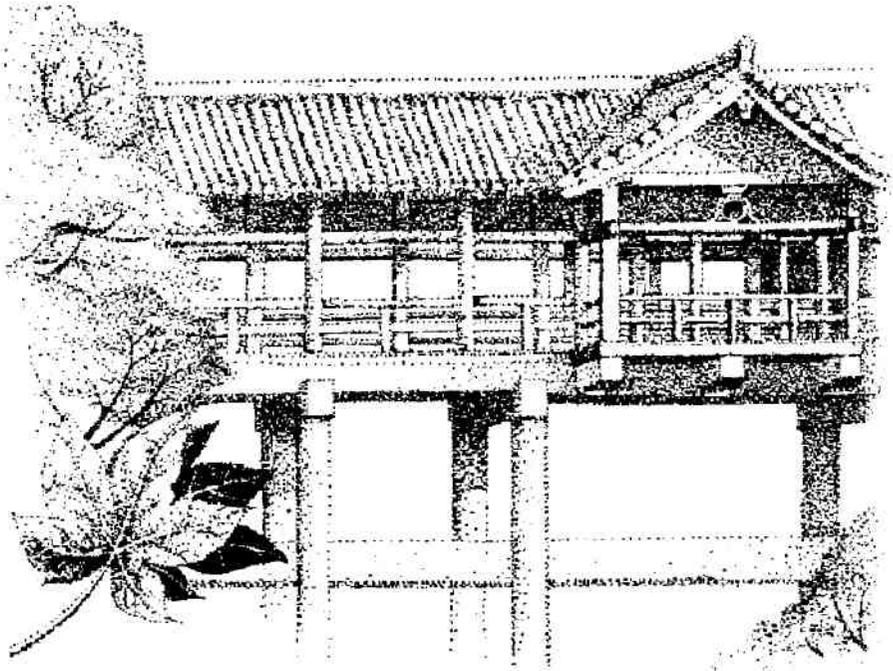


同窓会だより

発行
千葉県立船橋高等学校同窓会

千葉県船橋市東船橋6-1-1
〒273-0002 TEL0474-22-2188

印刷 (株) サラト
姫路市北条宮の町172番地
TEL 0792-84-1380



題字／小原天蕭先生
絵／関 亜希子（東福寺・通天橋）

友思会



同窓会長

三代川 幹 雄

習志野・八千代地区
保護司

今年の五月中旬、五年ぶりにクラス会を開催致しました。今年卒業後五十年という節目の年でもあり、二回ほど役員会を開き、遺漏なきよう準備にも随分と心を配りました。お陰様で、当日は四十六名中、二十六名が参加するという盛會ぶりでした。更に、八名からも欠席の連絡を頂きました。鬼籍に入った仲間も多い中、何はともあれ三十四名の級友が互いの消息を確認し合い、息災を祝し得たことは本当に幸運なことでした。

その夜、カラオケの腕前を披露する友。私流健康法に纏蓄を傾ける友。……紅顔の青年は、それぞれ思いも寄らぬ変貌を遂げていました。功利によらぬ仲間達との語らいはそれ自体実に楽しいものでしたが、それ以上に心弾んだのは、意外にもその準備作業で

した。葉書の文字に友の顔が重なり、整理をしながらも次から次へと思い出は尽きません。あの時の一言、一寸した仕草が互いの心に絆となつて残っていることを確認し得た嬉しさ。それは望外のものでした。同窓会の妙味は年を経ることにいや増すようです。

母校同窓会も創立八十周年を目前に控え、記念史及び会員名簿の発刊、記念式典の内容等、記念事業に関する課題が山積している状態です。今後、会員皆様方の御協力によりまして、一つ一つ誠実に対処して行きたいと思っておりますので、猶一層の皆様方の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に申し上げますが、会員皆様方の今後益々の御活躍と御健勝を御祈念申し上げます。私の御挨拶と致します。



「不易流行」

校長 小西 紀男

最近の教育改革に関する提言や報告書の中には「不易流行」ということば多く使われています。これは、人間として日本人として引き継いできた美しい心や伝統を大切にす

着任の御挨拶

御栄転の方々
校長 野老慎二郎氏 千葉敬愛短期大学
教頭 石橋 學氏 県立柏井高等学校教頭
事務長 市川 喜明氏 県立千葉高等学校事務長

平成九年四月の人事異動で着任され、同窓会理事となられた校長、教頭、事務長の三名の方より御挨拶をいただきました。また、御栄転された先生方には同窓会活動に多大の御理解・御協力を賜りましたことを深く感謝申し上げますとともに、新任地での御活躍をお祈り申し上げます。

全日制教頭 崎山廣和

大正九年、地域唯一の中学校として創立され、以来八〇年、地域の期待を担い時代の要請に因って幾多の有為な人材を社会に送り出してきた本校に、本年四月県情報教育センターより赴任いたしました。このような学校に勤務できることを喜びに思うとともに

現在、教育制度について複雑なシステムを柔軟なものにする必要を感じており、稀有能力を有する生徒たちのため

と同時に、激動の時代にあつてさまざまな変化に柔軟に対応できる力を身につけなければならぬという今後の教育のあり方を示すために使われているようにです。三年後に八十周年を迎える本校にとつてはこの言葉の持つ意味の重さは格別です。「不易」が単なる旧習の保持であつたり、「流行」がうわべだけの物真似であつてはならないことは当然です。

めたからこそ成された偉業であると思います。

本校の八十年に及ばんとする栄光ある伝統も、同窓の皆様方が、その時々時代の变化を鋭く予感し、洞察し実践したからこそ成された偉業です。また、変化の底流に流れる不変の真実を追い求

遅れてしまいました。同窓の皆様方がますますの発展とご健康をお祈り致しますと同時に、母校発展のため引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。よろしくお願ひいたします。

に大学入学年齢の特例を設けること等です。例えば、千葉大学では来年度入試から高等学校に二年以上在学した生徒等を対象に工学部へ受け入れ、独自のカリキュラムによる教育を実施します。社会の変化が急速に進む中、これからの教育には、ゆとりの中で生徒たちに生きる力をはぐくむことを目指し、一人一人の能力・適性に応じた教育を展開していくことが必要とされております。本校では、創造的な知性と円満な徳性を備えた実践力のある人間を育成するために一人一人の生徒に対して、先生方のためめな努力がなされております。本校の教育は真に教育改革を先取りしているのではありません。これは、素晴らしい熱意あふれる先生方の御指導、更には同窓会の皆様の御支援、御協力のたまものと思われまふ。輝かしい本校の伝統を守り引き継いでいくために努力していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



着任のあいつし

事務長

小松 英夫

山茶花がきれいに咲き始めた今日この頃、同窓会員の皆様には、ますます御健勝のことと存じます。本年四月、君津商業高校から赴任いたしました。歴史と伝統を誇る本校に勤務できることは、私にとって大きな喜びであります。県下でも屈指の事務長である、市川事務長の後任として多少不安があります。しかし、そこは若さでカバーし、より良い教育環境の整備に全力を傾注して参る所存ですの

り使用が開始されました。体育館照明改修については、現在設計等の作業を進めており、近日中に工事に入る見込みです。

本年度の施設整備は、武道館内部塗装、渡り廊下屋上防水改修、体育館照明改修工事が予算措置されました。渡り廊下屋上防水改修は、強風により防水シートが破れて二階渡り廊下が雨もりしたもので、七月に竣工しております。武道館内部塗装は、内壁、天井部の塗装で、九月に新装な

十月から、発がん性のある猛毒物質ダイオキシンの発生が懸念される学校焼却炉の使用が原則として禁止されました。これに伴い、今まで以上にごみの分別によるリサイクル化、減量化等に取り組みなければなりません。

また、地球環境問題として、地球温暖化、オゾン層の破壊等ありますが、生徒への教育は申すまでもなく、我々も真剣に考えなければなりません。

◆発行年月
平成十二年十一月三十日

◆販売価格
四千円(消費税込み)

◆調査時期
平成十一年初頭

調査はがきの発送開始

なお、会員の個人データについては、機密保持に十分配慮して取り扱うこととなっております。この会員名簿発刊のほか、理事会での検討を経て記念事業内容を詰めていきたいと考えております。会員の皆様方の、一層の御理解・御協力をお願い申し上げます。

平成11年11月
会員名簿発刊!!

同窓会事務局長 矢野 嘉朗

平成十二年、西暦二〇〇〇年に、母校は八十周年を迎えます。前号でもお知らせ致しましたが、この八十周年記念事業の一つとして会員名簿を作成すること、名簿作成は「株」サラト」に依頼すること、等が総会で承認されました。それを受けて、去る十月三十一日の夕方、同窓会長三代川幹雄氏、名簿作成委員会委員長長山三郎氏の立ち会いのもとに、「株」サラトと正式に契約を結びました。名簿作成については、左記のように予定しています。

船高の歴史・補遺(四)

市立習志野高校教諭

小川 信雄

船橋中院時代を知れる史料は少ない。最近、発見された「大正一一(一九二二)年六月二一日 船橋中院工事報告」(「船橋市史 資料編九」三六〇頁、一九九七年三月)を紹介する。「国民教育ヲ旺盛ニシ其(ソノ)成績ヲ優良ナラシメントセバ之(コレ)ガ形式ヲ整備シ教育上遺憾ナカラシムルニアリヤ論ナキナリ、本町ノ学齡児童ハ逐(チク)年其数ヲ激加シ校舍ノ狭隘ヲ告ケタルヲ以テ町当局ハ翼(サキ)ニ本校増築ノ議ヲ町会ニ提出シテ之ヲ決シ不肖等建築委員トシテ工事ニ着手セリ、建築校舎ハ間口二十九間奥行四間半木造瓦葺(カワラブキ)ノ二階建ニシテ此(コノ)坪数百三十坪五合外二昇降口三十坪便所十二坪ナリ、大正十年十月起工同(十一)年二月上棟式ヲ挙行シ当初ヨリ九ヶ月間二百(ワタ)ル日子(時)ト三方五千円余ノ工費ヲ以テ漸ク本月十八日子定ノ工事ヲ竣成セリ、其構造ハ利便ト堅牢ヲ主トシ、敬テ外観ノ美ヲ採ラサルハ一二町経済ヲ顧念シ節シ得ラルルダケノ工費ヲ次(ツギ)テ、

ヨリ大ナル教育上ノ効果ヲ収メシメントス(中略)
大正十一年六月二十一日
増築委員総代

当時、千葉県も中学校進学希望は増えていたが、行政の対応や認識は遅れていた。二般ノ風潮ニ迷ハサレ争フテ中等学校ニ走ラムトスルハ不健全ナル傾向」(「元田敏夫」知事訓示要旨(大正十三年八月二十五日)、「千葉県史料 近代郡制下」七二頁一九八九年)とあるが、県民の正当な進学要求を「不健全」と決めつけていたのである。工事報告では中院の設備充実が必要とし、校舎増築は町当局が提案し、町議会も賛同して実現したことが判る。増築校舎は一三〇坪の規模であるが、町経済の負担を考慮し、費用を節約し利便と堅牢を主としたとある。町立ではない中院へ、町が費用負担をしたことは、地域の人々の中等教育に対する要望の強さと中院への期待を示すものである。県立船橋高校は地元船橋との密接な繋がりのなかで発展してきたのである。

同窓会事業報告

平成八年度報告

平成九年度計画

〔一〕平成八年度事業報告

第一回 常任理事会

六月二十八日

議題①平成八年度会計報告

②平成九年度事業案

③平成九年度会計予算案

④平成八年

「春の同窓会」会計報告

第二回 常任理事会・幹事会

八月四日

議題・第一回常任理事会と同じ内容

・新幹事との顔合わせ等

平成八年度同窓会総会

八月四日

議題・第一回及び第二回常任理事会での審議内容の承認・質疑応答等

第一回 名簿作成委員会

九月二十一日

第二回 名簿作成委員会

九月二十一日

第二回 名簿作成委員会

九月二十一日

十月二十四日

第一回「春の同窓会」実行委員会及び事務局打合せ

十月三十日

議題・「春の同窓会」実施計画案作成

・「同窓会だより」編集

第二回「春の同窓会」実行委員会

平成九年一月二十七日

議題・進捗状況報告

・会場との打合せ、確認

平成九年「春の同窓会」

於 西船フロラ

第三回 名簿作成委員会

六月十日実施

第一回 常任理事会

六月十日実施

第二回 常任理事会

六月十日実施

〔二〕平成九年度事業計画

第一回 常任理事会

六月十日実施

第二回 常任理事会・幹事会

平成8年度 一般会計決算書

収入の部

		決 算	予 算	増 減	備 考
1	繰越金	819,341	819,341	0	
2	会費	950,000	920,000	30,000	全401 定74
3	雑収入	921	1,500	△579	
	合計	1,770,262	1,740,841	29,421	

支出の部

		決 算	予 算	増 減	備 考
1	会議費	54,050	120,000	65,950	
	役員会	30,030	150,000	119,970	
2	需要費	33,990	100,000	66,010	
	印刷費	62,360	100,000	37,640	
	消耗品費	80	20,000	19,920	のし袋
	人件費	6,550	20,000	13,450	総会案内宛名書
3	後援費	186,000	300,000	114,000	
	団体支出金	98,940	120,000	21,060	
	卒業記念費	0	0	0	
	育英金	25,000	200,000	175,000	クラス会補助5件
4	交際費	0	20,000	20,000	
	会長慶弔	105,020	50,000	△55,020	饗別金、香典料
5	事務局費	61,750	150,000	88,250	交通費等
6	予備費	15,450	390,841	375,391	貸金庫代
	合計	679,220	1,740,841	1,061,621	

収入・支出 差引残金	1,091,042	平成9年度へ繰り越し
------------	-----------	------------

平成十年二月十一日 選出されたクラス幹事と同窓会常任理事との初の顔合わせがこなされた。クラス幹事は、卒業時にクラスより2名合計20名決定するが、幹事への参加は7名であった。

平成九年度同窓会総会が、去る8月3日(日)午前10時より母校セミナーハウス食堂において例年通り実施された。総会に先立って午前9時より理事会・幹事会が実施され、昨年度卒業した新規同窓会員の代表としてクラスより

より先輩の後輩への気遣いと期待が大いに感じられた。休憩を挟み総会が引続いて実施

〔三〕同窓会総会報告

平成九年度同窓会総会が、去る8月3日(日)午前10時より母校セミナーハウス食堂において例年通り実施された。総会に先立って午前9時より理事会・幹事会が実施され、昨年度卒業した新規同窓会員の代表としてクラスより

より先輩の後輩への気遣いと期待が大いに感じられた。休憩を挟み総会が引続いて実施

された。総会は、三代川同窓会長の挨拶に始まり、今年度より母校校長に着任された小西紀男校長先生より御挨拶を頂いた。また、学校関係からは、年度末異動に伴って新たに新教頭 崎山寛和先生・新事務長 小松英夫先生が就任され同窓会幹事長矢野嘉朗氏より総会の席にて紹介があった。引き続き議事へと移行し平成八年度事業報告・決算報告へと続き会計監査 中村嘉秀氏より会計監査報告があった。平成九年度事業計画承認の後、平成九年度予算案の審議となり一般会計予算案の育英金と言う項目について理事より質問があった。ここ数年来、一般会計内に育英金と言う項目が存在したが実際の支出が無く、また、会計としても支出条件が明確でなかった為、逆に支出ができなかった旨の報告があり、同窓会顧問の秋原 忠氏より育英金設立の経緯について説明を頂いた。概略としては、昭和二十

三年より二十六年頃育英金制度が実際に機能し経済的困窮の生徒に対して三人の範囲で年額三万円の補助を実施していたとのことであった。説明を受け来年度予算については、〇円計上をやめ、一万円を計上することとなった。また、クラス会・学年会の補助金となつている組織企画費(卒業後四年間のみ補助している)についても補助範囲の拡大等意見があり、資金面の問題等もある為検討課題とすることとなった。最後に平成十二年の八十周年をにらみ同窓会名簿作成委員会委員長 畠山三郎氏より進行状況の報告があり、「サラト」という名簿作成業者との契約(同窓会名簿作成に向けての追跡調査及び名簿データのコンピュータ管理等)について業者の選択理由など詳細な説明があり、平成十二年に向けて完成の為、上記業者との契約委託について総会にて承認を得た。

特別会計 平成8年度 決算書

平成9年度 一般会計予算案

H8年4月1日～9年3月31日 収入の部

① 収入	1.繰越金	3,863,569
	2.利息	8,371
	合 計	3,871,940
② 支出	1.同窓会だより発行費	382,565
	2.春の同窓会運営補助	0
	3.予備費	0
	合 計	382,565

	本年度	前年度	増 減	備 考
1 繰越金	現 金 1,091,042	819,341	271,701	
2 会 費	974,000	920,000	54,000	全407 定80
3 雑収入	利 息 1,000	1,500	△500	
	そ の 他 0	0	0	
合 計	2,066,042	1,740,841	325,201	

差引残金	3,489,375	次年度繰り越し
------	-----------	---------

支出の部

	本年度	前年度	増 減	備 考
1 会議費	総 会 100,000	120,000	△20,000	
	役 員 会 100,000	150,000	△50,000	
2 需要費	通 信 費 100,000	100,000	0	
	印 刷 費 100,000	100,000	0	校内印刷費含
	消 耗 品 費 20,000	20,000	0	
	人 件 費 20,000	20,000	0	
3 後 援 費	団体支出金 300,000	300,000	0	学校援助費等
	卒業記念費 120,000	120,000	0	卒業証書入れ
	育 英 金 10,000	0	10,000	
	組織企画費 200,000	200,000	0	クラス会補助
4 交 際 費	会 長 20,000	20,000	0	
	慶 弔 70,000	50,000	20,000	
5 事務局費	150,000	150,000	0	
6 予 備 費	756,042	390,841	365,201	
合 計	2,066,042	1,740,841	325,201	

特別会計 平成9年度 予算案

《収入の部》

	本年度案	前年度案	前年度決算	備考
1.繰越金	3,489,375	3,863,569	3,863,569	
2.記念誌・名簿販売収入	0	80,000	0	
3.利 息	8,000	15,000	8,371	
合 計	3,497,375	3,958,569	3,871,940	

《支出の部》

	本年度案	前年度案	前年度決算	備考
1.同窓会だより発行費	500,000	700,000	382,565	
2.春の同窓会運営費補助	100,000	100,000	0	
3.予 備 費	2,897,375	3,158,569	3,489,375	
合 計	3,497,375	3,958,569	3,871,940	



母校の思い出

船橋市長

藤代孝七

(昭和三十六年卒)

今号の「わが同窓」は、異色の顔合わせとなりました。「超」がつくほど御多忙とは思いましたが、今年七月に船橋市長に就任された藤代孝七氏と船橋会議議員(前・市議会議長)田久保捷三氏、また、同窓生としては新米ですが国際技術博覧会で第三位を獲得し、今後の日覚ましい活躍が期待される暹澤順氏の三氏にお願ひしました。同窓生ということで、快く寄稿をお引き受けいただきましたことを心より感謝申し上げます。分野は異なりますが、三人の方々の益々の御活躍をお祈り申し上げます。

「母校」という言葉には、いくつになっても特別な響きがある。

私が県立船橋高校、いわゆる「県船」を卒業してすでに三十六年の月日が流れたが、今でも同窓の友人と出会うと高校のころの感覚に戻れることは不思議なものである。

先日、同窓会事務局の矢野さんから高校時代の思い出

を、と原稿の依頼を頂いた。

締め切りが間近になり、さて何を考えたが、やはり友と共に汗を流したことが、思い出として強く残る。授業のことよりも、友人と汗を流した柔道部のことのほうが記憶が鮮明である。

高校時代、私は三年間柔道部に籍をおいた。

本当は、幼い頃から野球が

大好きで、中学生時代も野球

部一本槍だったこともあり、入学するまでは野球部に入部するつもりだった。しかし、父から武道をやれと反対され、結局柔道部のお世話になることになった。

もう、三十年以上も前のこと

で、当時の社会を思い出せば当然のだが、とにかく上

運動部だからということだけでなく、普段の生活も、先輩後輩、目上の人に対する口常の礼儀は、しっかりと守られていたように思う。

かなりきつい練習もあった。中でも寒稽古は、特にきつい。

二年生からはバス通学となつたが、入学して一年間は、古和釜から自転車で通学した。時間は、三、四十分しかかからなかったが、寒稽古の時は夜が明けないうちに家を出て、稽古に向かうことになった。自転車だったせいかも知れないが、ひときわ体が冷えた。当時の冬の寒さは今よりも厳しかったように思う。

練習はつらかったが、逆に、先輩や友人からの励ましは心からうれしく感じられたし、二年生の時、初段をもらい黒帯を初めて締めたときの感激は大きかった。

当時共に苦労した仲間、それぞれ道を歩んでいるが、今でもつきあいは深い。やはり、つらいことを一緒に経験することは、なんとも言

えない結びつきをつくってくれるものだと感ぜずにはいられない。

社会の環境も変わり、学生生活も以前とはずいぶん違つたものになっている。しかし、大人に向かう三年間という多感な時期を過ごすことには変わりはない。

勉強にしろ、部活動にしろ、いろいろ思い悩み、反発し、失敗しながらも本気で物事に立ち向かえる時期でもある。

今年の夏、私は同窓会の皆さんをはじめ大勢の方々の応援を頂いて、船橋市長という重責を担わせていただいた。

日々、応援していただいた方々に感謝し、期待を裏切つてはならないとの思いでまっすぐ取り組んでいるが、高校時代、無我夢中で一つのことをやり通せたことが、今の自分の基礎の一つになっていることはいまでもない。

今、県船に通う生徒たちが幅広い人間性を身に付け、今後社会で活躍してくれることを心から願っている。

下関係はつきりしていた。

霹靂頻頻一年



船橋市議会議員

田久保 捷 三

(昭和三十五年卒)

船橋市は、昭和十二年の市制施行ですから、今年で丁度六十周年を迎えました。戦前の初期胎動と賑わい。敗戦そして混乱の戦後、第二期。昭和二十五年以後の人口急増の第三期。そして昭和六十年以後の第四期、スポーツ面での国内はもとより、国際的な活躍は、云うまでもありません。遅れたインフラ・下水道・都市計画道路等救急医療・福祉・公民館等々あらゆる面での急ピッチな整備は、近代文化都市としての基礎的な条件が整えられたものと云えます。

これからは、二十一世紀を捕えて、第五期黄金時代へと突入。更なる発展・静かなる充実期を堪能出来るものと考えられます。

この様な記念すべき節目の年に、偶々とは云え第四十三代市議会議長と云う名譽な大役に就けた事を、今では大変嬉しい思い出とさせて戴いております。

就任早々、中国・西安市全人

代表の議会公式訪問、船橋市議会初めての議場でのスピーチ。オーデンセ市長一行の来船。八月の甲子園。十月のヘイワード市長団の来船、市制六十周年記念式典、市民パレード。戦没者慰霊祭。小選挙区による初めての総選挙。十一月の西安市訪中団・長城マラソンの挙行。全国高校陸上総合優勝、京都駅伝男女出場、正月のサッカー全国優勝。知事選県議補選。関東市議会議長会々々長就任、全国市議会議長会部長就任。大相撲船橋場所。六月の市長選中議補選、新市長を迎えての議会開会準備そして開会。等々誠にめまぐるしい多忙な、多事争論の一年でした。

この一年の特徴には三点ありました。

一、スポーツの発揚
一、市民国際交流の充実
一、民主主義の原点・選挙であります。

一、二点については省き、三点

目の選挙について述べてみたいと思います。結果等についてはそれぞれに喜憂があるのかと存じますが、全国的な現象とは云え投票率の低下は目を覆うばかりの状況です。本日に政治離れだけが原因なのでしょう。政治家だけが悪いのでしょうか。私は、棄権者のほとんどは、消極的でも現状肯定派だと考えておられます。どうせそんな急には変わりないよ、こんなもんじゃないですか、まあまあ納得しているのではないのでしょうか。こんな感覚ならば、結果が違った時には、驚くにちがいない。仮にそうならば、次の選挙では心配で、投票に行ってくればと考えるのですが、投票率は依然として、否下がる一方です。賢明なる判断は何処へ！

民主主義の原点である多数決・選挙が有権者の過半数を割る比較的多数意見で左右されているのです。その上賢明なる判断の材料となる情報が、最近では何時にもなく中傷誹謗の紙やフлакシミリの増で阻害されております。所謂害め殺しやデマゴークで情報を操作され、選挙がジャックされたら、善良なる市民の賢明なる判断は不可能です。民主主義は破滅です。小選挙区制等法ではなく、人の心が、意識が改められない限り防く手

立てはありません。利権屋や選挙ゴロを根絶できません。同窓の諸兄姉に、印象の一端を訴える次第であります。

芸術の秋、同窓の新市長の色紙での参加を得て、素人集団・ポセイドンの第三回作品展を催しました。その時の文章は、次に紹介します。

「政治は所詮国民のレベル」なのでしょいか。数々の実績もいづしかあたりまえ。否負の印象

国際科学技術博覧会に参加して

遅 澤

順 (平成九年卒)

私は在学中に「さまざまな立休の研究」という論文で日本学生科学賞の文部大臣賞に選ばれ、今年アメリカで行われた国際科学技術博覧会に参加してきました。論文はパネルにして学校の先生や企業のボランティア、立体映像の専門家にも見てもらいました。授賞式の日、スポーツライトやレーザーでショウアップされた会場で Engineering 部門から自分の名前が呼ばれ三位とわかったときは予想外の喜びと興奮でいっぱいでした。アメリカ人は成功者への賛美を惜しまず一番優秀な人には五〇〇万円以上の賞金が送られていました。空き時間を使って、他の

「歴史は終った」のでしようか。頼山陽さんそろそろお目覚めを。外史・文藝一般のご講義を。小生議長職を辞すると共に就かない事で敗戦の責を考えており候。「まほろば・ふなばし」の再刊に総力を結果致し度存じます。ご指導を。

新たな意欲を燃やして、次なる目標を射ようと活動をさせて戴きます。同窓諸兄姉の益々のご健闘を祈る。

人の研究内容を見る機会がありました。驚いたのは研究内容が非常に高度で十五歳かそこの人がロボットを作ったり遺伝子の研究をしたりしていました。私はアメリカの底力を感じました。国際科学技術博覧会では非常に楽しい思い出と貴重な体験ができ、今から思えば夢のようにです。船橋高校の先生方、特に来年転任される大山先生には、論文作成の時非常に助けてもらい非常に感謝しています。それから三年間船橋高校でよき仲間と巡り合えたことを幸運に思っています。思えば短い三年間でしたがお世話になりました。どうもありがとうございます。

母校の現況

野球部顧問

丹 秀 広

「夏」を終えて

今年の夏。球場にまで足を運んだ方も多くおられるのではなからうか。野球部のベスト8入りは、記録に残る快挙である。このほか、各部とも様々な成果を上げているが、今回は野球部の他、水球新人戦で優勝した水泳部、個人戦で活躍したアーチエリー部に登場していただいた。

水泳部で学んだもの

三年 藤村直也

三年間部活をやってきて技術的なものも多く身につけてきたが、それ以上に精神的なものも多く教わった。その中でも先生が常に言っていたことは「一人に感謝する」ということだった。そのときにはその意味をわかつたつもりではいたが、引退してから思うと、現役時代にはその本当の意味をわかつていなかった気がする。

自分たちが部活に打ち込めたのは、先生・両親・マネージャーなどの多くの人の支えがあつてこそそのものだった。そのことを本当に感謝していれば、辛いときもその辛さを乗り切る気力をもてたはずだ。それが出来なかつたのは、やはり人に感謝する気持ちが心からのものではなかつたと

いうことだろう。後輩達には「感謝」の気持ちを糧にして、苦しさ、辛さを乗り切るということを現役中にわかつて欲しいし、そうすれば、自分達が味わえなかつた勝利の喜びを手に入れられるはずだと思う。



二回戦対船橋法典1-0完封。三回戦対木更津中央3-2サヨナラ。四回戦はマリンスタージウム対成東5-2。五回戦主将寺内君のHR等で対敬愛学園4-2。準々決勝対横芝敬愛1-4で惜敗。かくして船高野球部は、約四十年振りのベスト8という快挙を成し遂げたのである。

私達のチームには、野球で

アーチエリー部活動報告

顧問 西谷正幹

アーチエリー部は平成五年部に昇格の最も新しい運動部ですが、昭和五十九年の同好会結成当初から、県協会・高体連の大会に参加しています。

一見、華やかさそうですが、試合では三十、五十、七十(女子は六十)、九十(女子は七十)mの各距離二十六射、計百四十四射を射ち続けます。弓具・矢飛びに関する科学的理解と、技術、精神力、そして体力が要求されます。

入学時に経験者は皆無ですが、毎年興味を持った新入生

が入り、現在の部員は三十名です。射場は、葉園台の船橋アーチエリーレンジを利用しており、限られた時間での能力的な練習を追求しています。

二年前の県総体男子団体準優勝に続き、今年の県総体では三年の松井里恵が個人四位入賞、準決勝で一点差で惜敗の大健闘でした。十月の県一年生大会でも田辺貴久が準優勝となるなど、確実に力をつけてきています。今後とも、皆様の御支援をお願いいたします。

こと、応援してくれた船高生諸君にも、納得のいく結果だったのではないだろうか。

夏も終わり、秋の空が広がり始めた頃、朝日新聞に「戦力」と題する作文が掲載された。三年生の女子マネージャーがその思いを綴った一編だが、「熱」かつた今年の夏を、爽やかに締め括った。

